

平成30年度東みよし町の温室効果ガス排出状況

本町は、計画期間2019年度から2023年度とする第2次地球温暖化対策実行計画を策定し、2013年度比で-34.8%の削減とする目標値を設定しています。

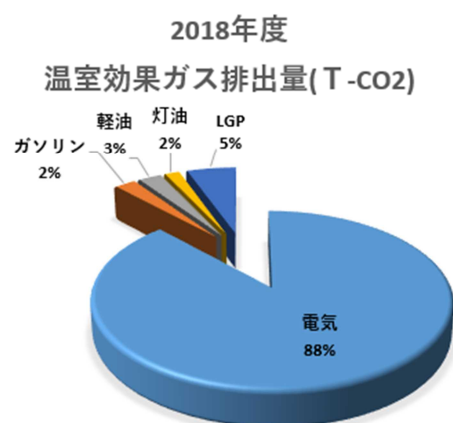
(国の地球温暖化対策計画2030年度の目標値、基準年度2013年度比40%削減)

基準年度 2013年度温室効果ガス排出量5,323 t-CO₂

目標年度 2023年度温室効果ガス排出量3,469 t-CO₂

東みよし町温室効果ガスの推移

排出源	活動量		排出量 (t-CO ₂)		
	2013年度	2018年度	2013年度	2018年度	
燃料	電気	5,958,202 kw/h	6,465,479 kw/h	4,171	3,157
	ガソリン	36,136 ℓ	35,250 ℓ	84	82
	軽油	35,947 ℓ	35,460 ℓ	93	91
	灯油	286,110 ℓ	22,938 ℓ	712	57
	LPG	44,066 m ³	32,512 m ³	263	194
合計			5,323	3,581	



活動量

○ 電気使用量が増加し・ガソリン・軽油・灯油・LPGについて基準年(2013年度)に比べ減少している。

吉野川ハイウェイオアシスでの設備更新(灯油ボイラー⇒電気式)により電気使用量が増加し灯油使用量が減少している。

温室効果ガス排出量

○ 本町の行政事務事業における2018年度(平成30年度)の温室効果ガス排出量は、3,581 t-CO₂となり2013年度(基準年)比で、32.72%減少している。

吉野川ハイウェイオアシスの設備更新(灯油ボイラー⇒電気式)に伴い、基準年度と比較して増加しているが、電気にかかる二酸化炭素排出係数が低減(0.700kg-CO₂/Kwh⇒0.496kg-CO₂/kwh)したことにより、排出量が減少することとなった。

また、一部施設において新電力会社から電力購入しており二酸化炭素排出係数(0.590 kg-CO₂/Kwh)と電力の排出係数が混在している。